

ミサ・感謝の祭儀

「これをわたしの記念として行いなさい」

ーイエスのことばー

ミサとは

ミサとは、カトリック教会で行ういちばん大切な祈りです。日曜日、平日、また、結婚式、葬儀などの生涯の大事なときにも行います。

ミサは、イエスが最後の晩餐に行われたことの記念です。イエスは、食事のとき、パンとぶどう酒の杯を取り、感謝の祈りをささげてから弟子に与えて、「これは、あなたがたのために渡されるわたしのからだである。これは、わたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて、罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。これをわたしの記念として行いなさい。」と言われて、ご自分の死を象徴的に表し、その意味を説明しました。その時以来、教会はイエスのことばを守って、救いをもたらしたキリストの死と復活を思い起こしながら、最後の晩餐の式を繰り返しています。

信者はミサの間に、神の言葉である聖書を聴き、この2千年前と同じ食卓に与り、キリストのからだである命のパン（ご聖体）を頂きます。こうして、このキリストの死と復活の記念は、私たちが最後まで愛して、私たちのために御自分の命をささげたイエスに心を合わせることとなっています。

ミサの時、私たちは、神の愛と神にいただいたすべての恵みを感謝します。それで、ミサは、「感謝の祭儀」とも呼ばれています。

ミサの次第

1. 開祭の儀

- ◆ 入祭の歌、あいさつ（キリストがともにおられることを意識する。典礼（お祝い、記念、祭日）お祝いの説明）
- ◆ 回心の祈り（自分が弱くて、罪深い人間で、神に近づくには相応しくないことを認め、ゆるしを願う。ゆるしを受けて、清い心をもってミサにあずかる）
- ◆ 栄光の賛歌（ゆるしの恵みを喜び、神を賛美し、感謝する）

2. 御言葉の典礼（御言葉によるキリストとの出会い）

- ◆ 聖書の朗読（神が語る）
- ◆ 説教（神のことばの説明）
- ◆ 信仰宣言（信仰をもって、神のことばに応える）
- ◆ 共同祈願（信仰を生きる（実行する）ために神の支えを求める）

3. 感謝の典礼（聖体によるキリストとの出会い）

- ◆ 奉納（神の恵みと人間の協力の結果（労働の実り）であるパンとぶどう酒を捧げ、感謝すると共に、自分を神に捧げる）

司祭の祈り：「この水とぶどう酒の神秘によって、わたしたちが人となられた方の神聖にあずかることができますように。」

- ◆ 奉献文（感謝の祈り・救いの業を思い出す）
 - ◇ 叙唱（主は皆さんとともに。。。）
 - ◇ 聖霊を願う（エピクレシス）
 - ◇ 聖変化（救いの業（キリストの完全な愛の奉献と過ぎ越しの神秘）が行われる。最後の晩餐の再現。パンとぶどう酒の本質が変わって、キリストの体とキリストの血となる。キリストがパンとぶどう酒の外観のもとに祭壇の上に自ら現存なさいます）

4. 交わりの儀

- ◆ 主の祈り（キリストと一致して、神の望みを表す主の言葉をもって、祈る。）
- ◆ 平和のあいさつ（主の平和を受けて、それを伝える。和解。）
- ◆ 聖別されたパン（聖体）の分割

司祭の祈り：「今ここに一つとなる主イエス・キリストのからだと血によって、私たちが永遠のいのちに導かれますように。」
- ◆ 平和の賛歌
- ◆ 拝領前の司祭の祈り
 - ※ 「主イエス・キリスト、あなたの体と血をいただくことによって、さばきを受けることなく、かえってあなたのいつくしみにより、心もからだも強められますように。」
 - ※ 「神の子、主イエス・キリスト、あなたは父のみこころに従い、聖霊に支えられ、死を通して世に命をお与えになりました。この神聖なからだと血によってすべての罪と悪から解放され、あなたのことばをいつも守り、あなたから離れることのないようにしてください。」
- ◆ 拝領前の信仰宣言
 - ◇ 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところへ行きましょう。
 - ◇ 「すると、百人隊長は答えた。「主よ、わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません。ただ、ひと言おっしゃってください。そうすれば、わたしの僕はいやされます。」 マタ 8:8
- ◆ 聖体拝領（キリストの体を受けて、キリストの救いの業に預かる。洗礼のとき、神と結んだ契約を更新する。）
 - ◇ 司祭：キリストのからだ
 - ◇ 信者：アーメン

4. 閉祭の儀

- ◆ 派遣の祝福（与えられた使命を果たすように）